

# Katsuyama

KATSUYAMA HIGH SCHOOL NEWS

vol.52

2020.12

## Contents

同窓会会長挨拶・同窓会役員……………	2
校長挨拶……………	3
活躍する卒業生……………	4
同窓会だより……………	5~7
母校だより……………	8
活躍する部活動……………	9
令和2年度 創立記念式典、 並びに創立記念日講演会 開催報告……………	10
令和2年の学校の様子……………	10
会計報告……………	11
進学・就職実績……………	12
事務局だより……………	12



同窓会会長

山下 豊

ご挨拶

同窓生の皆様、大変ご無沙汰いたしております。

新型コロナウイルスにより世の中がすっかり様変わりしてしまいましたが、いかがお過ごしでしょうか？

特に新型コロナウイルスにご自身やご家族の方が感染されたり、経済的な悪影響を蒙っていらっしゃる方々に心からお見舞い申し上げます。

平素は勝山高校並びに勝高同窓会に対し、多大なご支援、ご協力を賜っておりますこと、心から感謝申し上げます。

今年度は高校の授業もままならない中、学内外行事の多くが縮小か中止、恒例の同窓会本部の懇親会も、各支部の総会もすべて中止という大変残念な年になってしまいました。

この会報も皆様方のご支援により年々誌面も充実してきておりましたが、今年に掲載する記事に困るという事態。それでも何とか事務局の先生方のお力で素晴らしい広報誌をお届けすることが出来ました。また、毎年本当に多くの皆様からご寄付を頂戴いたしております。重ねてお礼申し上げます。

さて、少子化の波は更に進み、真庭市内の昨年の出生者数が250人を割ってしまいました。真庭市も周辺の町村も少子化対策や移住の促進など、人口減少に歯止めをかけるべく様々な対策を講じておりますので、このまま右肩下がりに減少するとは思いませんが、母校の定員充足は益々困難になることが予想されます。そうした中、岡山県立高校の再々編がいよいよ具体化して来つつあるようです。

新年度にはご案内通り、創立110周年を迎えます。長い歴史と幾多の人材を輩出して来た勝山高校が、将来に亘っても勝山高校として地域にとって必要不可欠な高校であり続ける為に、今が一番大事な時期だと思います。同窓生の皆様には引き続き強力な応援、ご協力をお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう、また一刻も早いコロナウイルスの収束を祈ってご挨拶いたします。

「ふるさと岡山“学び舎”環境整備事業」の趣旨

「母校を応援したい」「頑張っている岡山の学校に何かしてあげたい」「我が子の通う学校の教育環境の整備に役立ててほしい」という方から、学校を指定して寄附をしていただけるような仕組みを設けています。母校の生徒や岡山の子どもたちが、よりよい学習環境で充実した学校生活を過ごせるよう、より一層快適な学び舎を整備するため、皆様方の温かいご支援、ご協力をぜひよろしくお願いいたします。(岡山県HPより)  
**【不明な点のお問い合わせ先】** 岡山県立勝山高等学校 TEL 0867-44-2628 FAX 0867-44-4730

同窓会役員

役名	氏名	卒期
顧問	中島 道夫	中15
顧問	近藤 正美	中19
会長	山下 豊	高20
副会長	松浦 征護	高14
副会長	太田 詳子	高17
副会長	三船 昌行	高17
副会長	岡田 健	高21
副会長	宮島 敦子	高27
副会長	校長 影山 勝己	
監事	加納 容子	高17

役名	氏名	卒期
監事	近藤 英幸	高19
会計事務長	平岡 明子	
東京支部長	井上 光一	高33
岡山支部長	内山 満義	高22
関西支部長	木村 康雄	高17
津山支部長	二木 浩	高32
鳥取支部長	山藤 輝彦	高3
島根支部長		
川上支部長	徳山 周一	高25
落合支部長	道満 祥雄	高19

役名	氏名	卒期
勝山支部長	結家 恭一	高13
大佐支部長	金平 敏数	高13
中和支部長	由井 堅史	高30
美甘支部長	池田 文治	高20
新庄支部長	坂本 茂樹	高27
八束支部長	小谷 仁志	高30
久世支部長	石村 修	高30
月田支部長	植田 浩史	高27
富原支部長	久重 俊正	高8
湯原支部長	横辺 由江	高34



校長

影山 勝己

## ごあいさつ

同窓生の皆様には、ますますご健勝で日々ご活躍のこととお喜び申し上げます。母校勝山高校発展のために多大なご支援とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

おかげをもちまして、生徒たちは落ち着いて勉強や部活動などに一生懸命に取り組んでいます。これも保護者や同窓生をはじめ地域の方々の勝山高校に対する変わらないご支援のおかげと感謝いたしております。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大は各地域・各方面に深刻な影響を与えています。学校も例外ではありません。本年2月末の国の要請を受けて全ての県立学校が3月2日から臨時休業に入り、4月は10日間程再開、かろうじて始業式・入学式を行うことができましたが、その後5月末までの長期の臨時休業を余儀なくされました。その間、授業・学校行事・部活動などを行うことができず、学習の遅れを少しでも取り戻すために、週2日程度の登校日とインターネットを活用したオンラインでの指導でしのいできました。6月からは学校を再開しましたが、臨時休業期間の授業日の確保ということで、夏休みを大幅に短縮してそれまでの不足分を取り戻してきました。このような状況ですが、生徒たちは学習や諸活動の制約に加えてコロナ禍で不安を抱えながらも、互いに励まし切磋琢磨しながら自らを磨き、これからの社会を担う人材に着実に育っています。

真庭地域の高等学校については、現在は勝山高校（勝山・蒜山）と真庭高校（落合・久世）の2校4校地体制ですが、平成31年2月に策定された県立高等学校教育体制整備実施計画には、令和5年度を目途に真庭高校の複数校地は解消するが勝山高校蒜山校地は維持すると記載されており、整備に向けて具体的な方策が検討されています。一方、地域のニーズとしては、県教育委員会に対して地元から要望書が提出され、勝山高校を普通科4学級とし進学拠点校として進学機能を強化することや真庭高校に商業系学科を加えることなどを求めています。これらの動きを踏まえ、県教育委員会とともに普通科単独校としてのあり方を研究しているところです。これからも地域の声をしっかり聴きながら、勝山高校は真庭地域の拠点校として地域の信頼と期待に応え、「生徒が行きたい学校」「保護者が行かせたい学校」を目指して日々の教育活動に取り組んでまいります。

最後に、昨年もお伝えしたとおり、勝山高校では平成23年に創立100周年記念式が盛大に挙行されました。それから10年が経ち110周年を迎えようとしています。100周年ほどの盛大なものは予定していませんが、来年令和3年10月を中心とした記念事業等の準備を進めています。この会報にもご案内申し上げますとおり、本事業等へのご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。

同窓会の皆様には、今後とも母校への深いご理解と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 令和3年度本部総会のお知らせ

来年度の当番幹事は、平成2年3月卒業の皆様方です。  
ご協力よろしく申し上げます。

**日 時** 令和3年8月11日（水）

**場 所** 勝山高校同窓会館

**懇親会** 12時より **会 場** 勝山文化センター

### お知らせ

令和3年10月8日（金）

## 110周年記念式典 挙行

ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

# 活躍する卒業生



Seisuke Muraoka

## 村岡 誠介

高42回(平成3年卒)

悠悠(ゆうゆう)

第7回・10回

からあげグランプリ金賞



蒜山で「悠悠」という食堂を家族で経営しています。以前は児童養護施設に勤めていましたが、義母が開いたこの店を継ぐ為、2014年に転職し、真庭にUターンして来ました。ちなみに妻・真理は勝高の同級生です。

高校時代、私は硬式野球部に所属し、生徒会長でした。字数が限られるので、3年間をギュッと要約すると「勉強も部活も真面目に取り組み、生徒会長として、文化発表会の刷新、不評だった女子制服改変の道筋を作るなど、大規模な改革を断行。良き友達や先生にも恵まれ、ついでに未来の妻をゲットした」です。(時に歴史は、誇張し美化されるものです)

特筆すべきは、制服の改変で、在学中に着られないにも関わらず、同級生の女子からもたくさんの賛同と応援をもらえまし

た。課題を先送りせずに、後輩たちに繋げられた意味でも、誇れる学年だったと今でも思っています。

さて、24年ぶりに帰って来た真庭は、都会にはない「お宝」がたくさんあり、とても魅力的な地域だと感じています。一方で、様々な課題も見えています。だからこそ、解決できることは先送りせずに、次の世代に繋いでいきたいと思うのです。

食堂の親父ができることは限られますが、お商売を通じて、希望が持てる故郷になれるように、もっともっとがんばります、押忍。

ということで、最後は宣伝をして終わります。

勝高OBのみなさま、「ひるぜんの焼そば」と「とりの唐揚げ」を食べに蒜山にいらしてくださいーい!

1998年に勝山高校を卒業するまでの3年間は、自身のアイデンティティを確立する上で重要な時期であったと振り返ることが出来ます。

最も刺激的な出来事は、高校1年生で参加したカナダへのホームステイです。確か勝山高校初のホームステイ事業であったのではないかと記憶しています。20名前後の同級生と長い遠足に出かけるような高揚感と緊張感で、胸が締め付けられるような心地でした。初の海外、言語の壁、食習慣、スケール感、全てが当時の私には新鮮であり、刺激的であり、勝山という小さな町で育った自身にとってグローバルな目線を植え付けてくれた本当に貴重な日々でした。カナダの同世代は既に車を運転していましたし、ファッションや音楽、ここに書けな

いようなことも含めて、言うなれば我々よりもマセているわけです(笑)

僅か1か月程度のホームステイは、子供に毛が生えたような15歳の私の価値観をひっくり返すには十分な日々でした。ホームステイから帰って来た私は、独立心を前面に押し出す生意気な生徒になっていたのではないのでしょうか。(当時の先生方には何かとご苦労をお掛けしました)

卒業後は5年間程、東京や大阪、そしてイギリスやアメリカ等を放浪し今に至るわけではありますが、現在の仕事やまちづくりに対する情熱や想いは15歳の時に確立されたアイデンティティに因るところが大きく、この原稿を書きながら想うのは、母校への感謝と誇りです。



Souichiro Tsuji

## 辻 総一郎

高49回(平成10年卒)

(株)辻本店 代表取締役

# 同窓会だより



## 本部総会 報告

山本 明彦 高40回 (平成元年卒) 普通科代表

### 「幻の令和2年度本部総会懇親会」

私は勝山高等学校を平成元年3月に卒業しました。昭和天皇が崩御されて1月7日をもって昭和64年が終わり、明仁皇太子殿下が天皇陛下に即位されて新しい元号の平成が1月8日から始まりました。自分達は、平成になっての初めての勝山高等学校の卒業生になるのだなど、卒業式の最中に思ったのを今でも覚えております。その後、私は大阪の大学に進学し、大阪の会社で就職をしましたが、帰省し実家の家業である石材店を継ぐこととなりました。高校生当時は、まさか自分が家業を継ぐとは夢にも思っておりませんでした。今となっては人生、中々面白いものであるなと思っております。

帰省してからしばらくして、勝山高等学校には50歳になる卒業生が同窓会幹事となる伝統があるということを知り、私には3歳上の兄がいるのですが、50歳になる年に頻りに、同級生達と打ち合わせや練習に出かけ、大変そうだなと思っておりました。そう言えば卒業式当日の最後のホームルームで各クラスの同窓会担当を決めたことを思い出しましたが、各クラスの担当が誰であったかは、後に同級生と集まって話してみたものの、誰の記憶にも残ってはいませんでした。

そして昨年、令和元年8月11日に昭和63年卒業生の先輩方の同窓会懇親会に招待頂き、規模の大きさ事前準備の必要性を痛感し、まずはメンバー集めが大事だと思い、第1回目の打ち合わせを11月に行い、約10名の同級生が集まり、次に第2回目を令和2年1月に、その時は約30名の同級生が集まりました。何よりも同級生の中に現役、勝山高等学校の教諭である前田竜一先生がおり、同窓会事務局の担当であったのは何より心強いものであります。事前準備の中で、招待状送付先の住所が、同窓

会名簿（公式のもの）の中には約1割程度しか現在の住所が反映されていなかったのですが、同級生ネットワークや昨今のSNSを活用し、僅か2か月間の短期間で約9割の最新住所名簿が集まり、みんなの意気込みや熱意を感じました。勿論、実家に連絡をして現住所を教えてくださいメンバーもおり、しみじみと同窓会に向けて着々と進んでいると嬉しく思っておりました。名簿も揃い、送付内容、懇親会内容もほぼ決まり、懇親会で披露するダンスの練習をいざ始めるその時、昨今のコロナウィルス禍の状況により、同窓会懇親会中止の連絡が入り、準備メンバー全員意気消沈しました。2月下旬に緊急事態宣言が出され予想していたものの、いざ中止という現実の事態に直面するとショック以外の何物でもありませんでした。

しかし、折角ここまで準備を進めていた為、皆の気持ちにも「中止」という考えはなく、またこのような機会も中々ないことから、純粹に平成元年度卒の同級生同窓会として開催しようということになりました。当初は令和3年の正月に開催をしようと思っておりましたが、コロナの終息はまだまだ見えないこともあり、現時点では令和3年5月2日に開催予定となっております。

この度、令和2年8月11日に本部、同窓会総会に同級生数人と初めて出席させて頂き、同窓会の活動を知り、多くの先輩方が勝山高校を支えておられることを実感しました。今回は残念ながら懇親会中止ということになりましたが、高校を卒業後してから多くの同級生で集まる機会は殆どない為、思い出話や更なる懇親を深め、次への活力となるよう、今後も可能な限り微力ではありますが協力していきたいと思っております。



## 東京支部総会・懇親会報告

支部長 井上 光一 高33回(昭和57年卒)

新型コロナウイルスによる影響で大変な状況ではございますが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

連日報道されているとおり、東京・関東はまだまだ感染者が減らず、まだまだ予断が許せない状況が続いております。6月に行っておりました恒例の懇親会も中止せざるを得ず、残念であるものの安心・安全の確保のためには致し方ないことで、複雑な気持ちで日々を過ごしております。特に園児・生徒・学生は一生に一度の大切な行事も中止となり、慣れないリモート授業や変則的な登校もあり、仕方のないこととは言えども、大きなストレスを抱えることとなり、心のケアが大切と感じております。

一方、『普通』のことが本当は幸せなのだ、このような状況下でこそ得られる体験や人々との関係性にも気付きがあるのではないのでしょうか。また現在の状況が単発的なものでなく、将来の生活習慣や働き方など適応を考えねばならない時期なのかとも思います。

何かと不便が多いですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々を取り戻せるよう心から願うとともに、皆さまのご健康と、益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

東京支部の方々におかれましては、来年は懇親会で2年分の交友を温めたいと存じます。



## 関西支部総会・懇親会報告

支部長 木村 康雄 高17回(昭和41年卒)

令和2年はうれしいニュースで開けました。ここ数年新しい当番幹事の方の出席がなく母校にも相談を持ち掛けていたところ、地元から昭和62年卒幹事の杉山一夫さんともう一方が関西支部総会へ参加していただくことが決まったとの朗報を得ました。そのことで関西の同年度の参加者も見込めるとの知らせ。小躍りして喜びました。

しかしその頃にはすでにコロナが手を付けられない状況になっておりました。折角の朗報をもらいながら涙を吞んで中止の決断をせざるを得ませんでした。

一方、関西支部名物の応援団によるエールは昭和40



年卒の山本さんの熱心な指導により着々と後継者が育ちつつあります。

今回は新しいホープ3名を紹介します。

56年卒の岡田知泰さん、福富茂樹さん、57年卒の西田智全さん3名の雄姿をお届けします。暗いニュースばかりではありません、新しい芽が育っています。

今年応援予定であった杉山さんには再度来年の関西支部の同窓会には是非参加いただきたいと願っております。

先輩の築いた文化と伝統の継承にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

## 岡山支部総会・懇親会報告

支部長 内山 満義 高22回(昭和46年卒)



平成28年度以降、役員改選により岡山支部長に就任致しました内山満義です。勝山高校同窓会、同窓生の皆様よろしくお願いたします。

岡山支部総会は、3年に1度の開催となっており、最近では昨年の11月24日、アークホテル岡山にて総会・懇親会を開催いたしました。岡山支部においても最低2年に1度の総会開催とし、私ども支部長・役員一同、その方向で協議し、開催予定としておりました。ところがその中で新型コロナウイルスの影響を受けざるをえない事になりました。

このコロナ禍の中、前を向きながら今後の勝山高校同窓会及び岡山支部の発展を希望しております。できる限り、同窓生の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



## 湯原支部総会・懇親会報告

山谷 逸士 高16回(昭和40年卒)

### 湯原支部との歩み

永年有名無実であった支部を現本部同窓会副会長で

ある三船昌行君の発起により、H22年に再生復活を果たした湯原支部。役員メンバーには現役を引退し腰を据えて地域に恩返し出来る立場となった年代(S38~45卒)の互いに腹を割って話し理解し合える有志の想いが固まった結果の船出であった。H22年5月油屋別館で実施した再生第1回の懇親会には、本会より辻前同窓会長をはじめ7名の御来賓を含め63名の出席で盛大に開催出来て感激した事を鮮明に思い出す。以降令和元年迄に総合懇親会を本会の御支援と会長副会長及び校長他校内幹事の先生方の御臨席を賜り9回を重ねる事が出来たのは誠に幸甚であった。

初代三船君の本会副会長就任のタイミングで図らずも支部長を引き継ぐ事となり、彼の残任期間を含め7年余の長期間勤めさせてもらった。常に課題を抱え、己の力不足を感じながらの会運営であったが「続ける事に意義が有る」との信念で頑張ってみた。結果会員個々が勝高OB・OGとしての自覚と同窓生同志の連帯感醸成出来たのでは、と自己評価している。信頼出来る仲間である幹事諸君の協力支援には心より深く感謝し敬意を表すところである。平均63才でスタートした訳だが10年経てば後期高齢者間近。そんな折、新たな発想とより若々しい行動力を希求し、結果新たなリーダー達に円満にバトンタッチ出来たのは幸いな事であった。丁度新型コロナの不意打ちを受け、事態静観を余儀なくされた時期を迎え、新たなスタートにはむしろ良い切っ掛けであるとポジティブに受け止めている。

支部会員の絆を信じ今後も全面的に協力して行きたいとの思いを新たにしている。



# 母校だより



## 第21回 鼓山祭

9月2日(水)～4日(金)に『雲外蒼天～輝け!青春の晴れ舞台～』というスローガンを掲げ、第21回鼓山祭が開催されました。今年度は新型コロナウイルスが流行し、開催も危ぶまれましたが、学校が一丸となって対策を考え、可能な範囲で行うに至りました。

文化の部は2日間とも生徒と教員のための外部非公開で行われました。各団のステージ発表は例年通り1日目に行われ、劇の部では高度な編集技術を駆使して動画にまとめたものや、くすっと笑える新喜劇、完成度の高い怪談ストーリーが上演されました。ジャンルに富み、それぞれに工夫された素晴らしい出来栄でした。ダンスの部では、流行りの曲やかっこいい洋楽に合わせてキレのよいダンスが披露されました。フォーメーションの変化や衣装の工夫はもちろんですが、何よりもメンバー全員の笑顔が観る人を魅了したように思います。体育館は観客の人数制限を行ったり、接触がない演出に制限をかけたりと、理想通りにはいかない部分もたくさんありましたが、生徒はできることに全力を注いで一生懸命取り組んでいました。

展示は2日間にわたって行われました。展示も新型コロナウイルス対策の中、行われたわけですが、優勝したお化け屋敷をはじめとし、謎解き迷路やスタンプラリー、写真スポットなど力作ぞろい、たくさんの人を楽しませるものになったと思います。全校制作では、全校生徒の手形を取り、手形に顔と意気込みを書き込んでもらい、昇降口のドアいっぱいに張り付けました。学校

に来た私たちに“特別な日”という高揚感を与えてくれました。例年より展示の数は減少しましたが、素晴らしい作品が見られました。

有志によるステージ発表は大盛況でしたし、3年ビジネス科による模擬店では心のこもったおもてなしができました。また書道パフォーマンスや吹奏楽部のコンサートを含め、部活動には文化祭を大いに盛り上げてもらい、興奮冷めやらぬまま文化の部は幕を閉じました。

3日目の体育の部は、台風の影響で延期もやむを得ないと思われていたものの、開催したいという全員の思いが通じたのか開会式前に雨は止み、予定通り行うことができました。懸命に走る姿、応援する姿は清々しく、観ている方も元気をもらえたような気がします。特に応援合戦では、団を引っ張ってきたリーダーたちが一生懸命に声を張り、それまでの底知れない努力をすべてぶつける熱い戦いになりました。どの団の応援も素晴らしく、甲乙つけがたいものでしたし、それまでの過程を考えると、全団、全生徒に優勝をあげたいと心から思いました。

こうして勝山高校では、第21回鼓山祭を無事に終了し、歴史をつなげることができました。例年とは違うということで、形になるまで議論が絶えない年にはなりましたが、それでもあきらめず最後までやり遂げてくれた生徒たち。苦しんだ分だけ成長も著しく、今後の学校生活も頑張ってくれるものと期待しています。そして来年は、今年の2年生の勇姿を間近で見ていた1年生がより良い鼓山祭を作り上げていってくれることでしょう。





# 活躍する部活動

## ■ ソフトテニス部

現在、ソフトテニス部は、男子8名、女子10名、合計18名で活動しています。活動日・活動場所は、平日の放課後は学校のテニスコートで、土曜日は勝山運動公園テニスコートで、活動内容は主にウォーミングアップ、乱打、サーブ練習、試合形式の練習等です。

今年はコロナ禍の影響で、例年、3年生の先輩の引退試合になっていた6月の公式戦が中止となり、7月になってから代替試合が開催されました。代替大会に参加された先輩もいらっしゃいましたが、多くの先輩は出場されなかったため、「公式戦を最後に引退したかった」という声を多く聞きました。僕たちの新人戦においても地区予選が開催できず、代わりに地区での交流練習試合が開催されました。3密を防ぐため、試合会場に居る選手の数を制限しなければならず、同校のペアといえども試合の時間帯を分けられてしまい、借り上げバスと一緒に移動することが困難になりました。結局、会場まで親に送迎してもらいました。せっかく送ってもらったのに、感染拡大防止の観点から観客席への入場制限によって、観戦・応援してもらうことができませんでした。とても残念だったし、それでも送迎してくれた親には改めて感謝の気持ちで一杯になりました。

現在の悩みは、試合の時、きっちりと勝ちきれないことです。うまくなりたいという気持ちがとても強いのですが、平日の放課後は顧問の先生方がとても忙しく、ゆっくりと落ち着いて指導していただくことが少ないです。そこで、自分たちで練習方法を考えたり、中学生の頃の練習を思い出したりしながら、自分たちに今、何が足りないかを考え、それを補えるような練習メニューを作って頑張っています。頑張るべきポイントがよく分かっているので、以前より、効率の良い練習になっていると思います。

来年の春、新型コロナウイルスの状況によって、部活動がどのようになっているかわかりません。今より良くなっているかもしれないし、より不自由になっているかもしれません。しかし、僕たちの「ソフトテニスが好き」という気持ちは変わらないので、与えられた環境の中で精いっぱい、ソフトテニスを楽しんでいきたいと思っています。

今後とも、ご支援やご指導を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

勝山高校 ソフトテニス部  
部長 齋藤 祥希  
福井 彩乃



## 令和2年度部活動 主な成績

### 運動部

#### ■ 硬式野球部

令和2年度秋季岡山県高等学校野球大会 出場

#### ■ 陸上競技部

岡山県高等学校総合体育大会代替大会  
陸上競技の部 出場

#### ■ バドミントン部

令和2年度第43回美作地区高等学校  
バドミントン大会 男子ダブルス第3位

2年 中村航琉

1年 石井智也

令和2年度第43回美作地区高等学校  
バドミントン大会 女子ダブルス第1位

2年 木原咲季

2年 牧 瞳歌

令和2年度第43回美作地区高等学校  
バドミントン大会 女子ダブルス第3位

2年 菊田優奈

2年 信谷夢叶

令和2年度岡山県高等学校バドミントン競技

秋季大会美作地区予選会

男子学校対抗戦第2位

令和2年度岡山県高等学校バドミントン競技

秋季大会美作地区予選会

女子学校対抗戦第1位

令和2年度岡山県高等学校バドミントン競技

秋季大会美作地区予選会

男子ダブルス第2位

2年 中村航琉

1年 石井智也

令和2年度岡山県高等学校バドミントン競技

秋季大会美作地区予選会

女子ダブルス第1位

2年 木原咲季

2年 牧 瞳歌

#### ■ 軟式野球部

令和2年度夏季岡山県高等学校野球大会

岡山大会 ベスト8

#### ■ サッカー部

令和2年度美作地区高等学校サッカー選手権大会

Bブロック 優勝

#### ■ 女子バレーボール部

岡山県高等学校総合体育大会代替大会

バレーボールの部

岡山県美作支部大会 Bグループ2位

第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会

岡山県予選会 ベスト16

### 文化部

#### ■ 書道部

第36回成田山全国読書大会

特選月輪賞 3年 入尾咲羽

第36回成田山全国読書大会

佳作 2年 山本咲菜

第41回ふれあい書道展

特選 1年 佐藤苺菜

第41回ふれあい書道展

奨励賞 3年 乾 蒼世 3年 入尾咲羽

3年 桑井乃々子 2年 金佐美鈴

2年 吉田詩歩 2年 山本咲菜

1年 畝本歩実 1年 網島百花

1年 伊澤美羽 1年 徳山美咲

#### ■ コンピュータ部

全商ビジネス文書実務検定速度部門1級、

速度部門2級取得

#### ■ 英会話同好会

第23回真庭地区中学校・高等学校

英語スピーチコンテスト

高校生スピーチの部

第1位 1年 岩野小夏

第2位 1年 浅野七果

第3位 1年 中谷梨乃

## 令和2年度 創立記念式典、並びに創立記念日講演会 開催報告

講師 稲田 尚久 氏

(普通科第40期生)

岡山コミュニケーション研修講演企画代表/産業カウンセラー

日本アンガーマネジメント協会認定アンガーマネジメントファシリテーター

岡山県青少年健全育成促進アドバイザー/岡山県教育委員会人権教育講師バンク登録講師

10月8日(木)、本校体育館にて、全校生徒及び参加希望の保護者の出席のもと、創立記念式典、並びに創立記念日講演会が行われました。影山校長が式辞で本校の沿革を紹介、校歌斉唱の後、本校の卒業生で岡山県青少年健全育成促進アドバイザーの稲田尚久先生をお招きし、「もっと上手になろう!コミュニケーション」という演題で御講演をいただきました。また、稲田先生は普通科第40期生でもあり、先輩としてとても親しみのある口調で生徒達に語りかけられました。

他者とのコミュニケーションをより良いものにする際のポイントに「思いやり」を挙げ、自己紹介や人と話す時の注意点について、実践を交えながら具体的に分かりやすく、ユーモアを交えて、お話をしてくださるので、90分間の時間の長さを感じさせない、充実したものとなりました。生徒の感想からも「稲田さんの話し方がすごく上手だった」「眠くならず楽しかった」というように、講演が興味深く、楽しいものであ

たことが伝わってきました。また、「自分も高校時代の稲田さんのように仲の良い人以外のコミュニケーションが苦手ですが、稲田さんが変わったように今回学んだことを活かして私も変わりたい」「面接へ向けてすごく役に立ちました」等、今後に向けてのやる気や学びが得られたことも伝わってきました。講演会の目的である「講演を聴くことで、高い志を持ち自ら課題を解決しようとする人材を育成する。」にふさわしく、これからさまざまな課題に立ち向かっていく生徒にとって大切なコミュニケーション能力とやる気を与えていただける講演会となりました。



### 稲田尚久氏のプロフィール

1970年岡山県真庭市生まれ。名古屋芸術大学絵画科洋画専攻卒業後、愛知県の中学校常勤講師として1年間勤務。帰郷後、岡山県公立中学校教諭として23年間勤務。教師生活24年の22年間を学級担任として、700組以上の多感な思春期の子供と保護者へ寄り添って来た。アンガーマネジメント、叱り方、伝え方、聴き方を中心に、子育て、教育、コミュニケーション、メンタルヘルス、ハラスメントといった分野の講演や研修

を年間100本以上行っている。また、産業カウンセラーの資格を活かして、官公庁や企業、個人へのコンサルティングも行っている。教師経験を活かした内容と豊富な事例。自身がイライラを家族へぶつけてきた父親としての反省を活かした内容に共感を呼び続けている。失敗経験を包み隠さずおもしろおかしく伝えることで、笑いながら楽しく学べる内容に定評あり。

## 令和2年の学校の様子

勝山高校では2月28日の緊急事態宣言に伴い卒業式の簡略化(教職員・卒業生・保護者のみの出席)、3月の休校(自宅学習)を経て、4月には無事に新入生を迎えることができたものの、4月中旬~5月は再び長期休校。部活動を含めて全ての活動が停止となり、通常の大会も中止となりました。今年はそれぞれの代替大会で、残念な思いがありながらも3年生は引退となりました。しかしこのような困難な状況から「学校活動で何ができるのか」を教職員・生徒で協議し、最大の生徒会行事である「鼓山祭」を入場者の制限(文化の部は非公開・体育の部は各家庭2名まで公開)はありましたが無事に開催することができました。いつもと異なる形での鼓山祭でしたが、生徒達はそれぞれ

の活動場所で力を発揮できたと思います。そして秋になり、いよいよ3年生は受験に向けて勉学に努め、1・2年生は様々な制約の中で学校生活・部活動に取り組んでいる状況です。

このコロナウイルス拡大で学習の仕方に大きな変化が生まれました。インターネット利用による学習です。この休校期間中にネットを通じて連絡・指示・授業動画が配信され、提出物もネットで提出。今後は学校でもネット環境の充実が計画されています。

この先どのような変革が行われるのか定かではありませんが、学校という場が生徒にとっての出会いと勉強と活動と成長の場で有り続けるよう、教職員一同努めて参りたいと思います。

# 会計報告

令和元年度  
同窓会会計決算書

## 収入の部

(単位：円)

科目	予算額	収入済額	比較増減(△)	摘要
繰越金	1,238,402	1,238,402	0	平成30年度からの繰越金
生徒入会金	715,000	695,000	△ 20,000	生徒入会金5,000円×139名
雑収入	598	96,624	96,026	会員寄付・会員名簿・預金利息等
合計	1,954,000	2,030,026	76,026	

## 支出の部

(単位：円)

科目	当初予算額	流用額	予算現額	支出済額	残額	摘要
広告費	50,000	0	50,000	43,740	6,260	同窓会本部総会広報用
旅費	180,000	4,000	184,000	183,115	885	支部総会出席旅費等
会議費	100,000	46,000	146,000	146,000	0	支部会議費出席会費
慶弔費	40,000	0	40,000	10,000	30,000	役員退任者記念品
通信費	30,000	0	30,000	11,075	18,925	郵送料
助成費	250,000	0	250,000	220,000	30,000	各支部助成金
需用費	100,000	10,000	110,000	109,507	493	消耗品購入費等
予備費	1,204,000	△ 60,000	1,144,000	0	1,144,000	
合計	1,954,000	0	1,954,000	723,437	1,230,563	

収入済額 2,030,026円－支出済額 723,437円＝残額 1,306,589円 (令和2年度へ繰越)

令和元年度  
同窓会報告会計決算書

## 収入の部

(単位：円)

科目	予算額	収入済額	比較増減(△)	摘要
繰越金	2,295,603	2,295,603	0	前年度からの繰越金
賛助金	2,068,000	1,981,000	△ 87,000	772件
雑収入	397	0	△ 397	
合計	4,364,000	4,276,603	△ 87,397	

## 支出の部

(単位：円)

科目	予算額	流用額	予算現額	支出済額	残額	摘要
賛助金振込手数料	104,000	0	104,000	91,990	12,010	
会報発行費	1,666,000	0	1,666,000	1,663,087	2,913	
口座振込手数料	1,000	0	1,000	660	340	
予備費	2,593,000	0	2,593,000	0	2,593,000	
合計	4,364,000	0	4,364,000	1,755,737	2,608,263	

収入済額 4,276,603円－支出済額 1,755,737円＝残額 2,520,866円 (令和2年度へ繰越)

上記のように、このたびも会報に多額の協賛金を頂戴しました。皆様のご温情に心より感謝いたしております。賛助金のおかげで今回もページ増で、活字も大きくした形でお届けすることができました。年に一度の会報ではありますが、今後とも変わらぬご理解・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



秋季球技大会



JR中国勝山駅 清掃活動



OiBokkeShi 菅原直樹氏による  
「表現実践」授業

## 進学実績

《令和2年3月合格者状況》※( )は既卒で内数

大学名	合計	大学名	合計	大学名	合計	大学名	合計
室蘭工業大	1	立命館大	3(2)	福山大	4	大阪府岡医療専門長柄校	1
東京学芸大	1	龍谷大	2	安田女子大	1	神戸ファッション専門	1
大阪大	1(1)	大阪経大	1	広島国際大	1	神戸電子専門	2
和歌山大	1	大阪産大	1	四国大	2	玉野総合医療専門	9
鳥取大	1	大阪商大	1	徳島文理大	2	大阪バイオメディカル専門	1
島根大	4	関西大	1(1)	松山大	4	川崎リハビリテーション学院	1
岡山大	6	近畿大	5(2)	岡山医療専門職大	1	朝日医療大	2
広島大	1(1)	関西学院大	1(1)	サイバー大学	1	京都栄養医療専門	1
山口大	1	摂南大	2	私立大学合計	110(7)	岡山済生会看護専門	1
愛媛大	1(1)	関西福祉科学大	2	京都経済短	1	大阪文化服装学院	1
<b>国立大学合計</b>	<b>18(3)</b>	大阪観光大	1	華頂短	1	ビジュアルアーツ専門	1
		大阪女学院大	1	嵯峨美術短	1	倉敷中央看護専門	1
		大阪保健医療大	1	龍谷大学短期大学部	1	岡山医療センター附属岡山看護助産学校	1
		神戸学院大	2	関西外大短大部	1	大阪デザイナー専門	1
		神戸女学院大	1	川崎医療短	1	旭川荘厚生専門	1
		神戸松蔭女子大	1	就実短	2	岡山情報ビジネス学院	1
		関西福祉大	1	美作大短大部	7	専門学校ピーマックス	1
		岡山商大	5	私立短大合計	15	東洋医療専門	1
		岡山理大	12			平成リハビリテーション専門	1
		川崎医療福祉大	6			日本外国語専門	1
		吉備国際大	2			上田女子服飾専門	1
		くらしき作陽大	1			大阪情報コンピュータ専門	1
		就実大	3			大阪IT会計専門	1
		清心女子大	3			専門学校岡山ビジネスカレッジ	1
		美作大	11			専門学校岡山ビューティーモード	1
		環太平洋大	1			<b>専門学校等合計</b>	<b>35</b>
		広島経大	1				
		広島修道大	5				
		広島文教大	1				

## 就職実績

就職事業所	合計
公務員	
新庄村役場	1
<b>合計</b>	<b>1</b>
民間事業所	
(株)デンソー勝山	1
西日本旅客鉄道(株)	1
(株)旭ポリスライダー 岡山久世工場	2
岡山県貨物運送(株)津山主管支店	1
三橋サンプリッジ(株)	1
津山信用金庫	1
(株)山田養蜂場	1
(株)大成コンサルタント	1
(株)イリエ	1
日本郵便(株)中国支社	2
真庭農業協同組合	1
<b>合計</b>	<b>13</b>



## 事務局だより

### 維持会費納入のお願い

このたび、同窓会報第52号を発行することができました。同窓会として、このような会報誌を会員の皆様にお届けすることで、母校を懐かしんでいただき、更には母校の発展、会員の親睦に繋がればと考えております。そこで、同窓会活動の活性化、より内容の充実した会報を皆様にお届けする為に、会員の皆様に維持会費2,000円(令和元年份)のご協力をお願いを申し上げます。

封筒内に振込み用紙を同封しておりますので、お近くのコンビニ、または郵便局からご入金していただきますようお願い申し上げます。

お寄せいただいた会報協力金の一部を110周年の諸行事の賛助にも使わせていただければ幸いです。記念の年を祝うために有効に活用させていただきますので、なにとぞご理解のほどお願いいたします。



LINE Pay

LINE Payでも  
ご利用いただけます

### 同窓会を開催しませんか？

「学年同窓会を開きたいな〜」「最近みんな会ってないな〜」「クラブOB会を開きたいな〜」といったお声にお応えし、同窓会が各種同窓会開催を応援いたします。(有料)

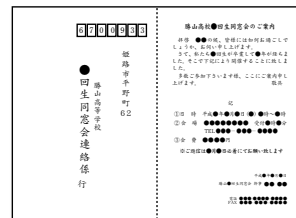
**対象者** 同窓会員(現旧職員含む)に限ります。

**内容** ①宛名タックシールの作成

②同窓会開催の案内ハガキ(右見本の作成(往復ハガキ含む))

※出欠の集計、会費の入金管理も行うことが可能です。  
※個人情報の管理のため住所データの提供は行いません。

案内はがき  
見本



往復はがき

## 編集後記

令和2年は大変な年になりました。昨今の自然災害に続き、新型コロナウイルス感染拡大による社会生活の激変、経済の停滞など、各所で多くのご苦労があったかと思えます。

さて、昨年もお知らせをいたしました。来年度は岡山高校創立110周年を迎えるにあたり、記念式典・行事を予定しております。例年の各支部会・総会で会員の皆様が集まれない中、宣伝不足が心配され、また今回の新型コロナウイルスの影響で当初の予定どおり行うことが困難になることも考えられますが、同窓生の皆様の御理解と御協力のもとで粛々と準備を進めて参りたいと思えます。よろしく申し上げます。